

令和元年 11 月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	議席 番号	氏名	野 本 貴 之 議 員	1 / 1
発 言 項 目		要 旨		答 弁 者
1	発達特性をもつ児童生徒への支援拡充（通級指導教室の取り組みなど）	<p>発達特性をもつ児童生徒数は年々増えている。グレーゾーンと言われる軽度発達障がいの増加が顕著であり、支援を必要としている。</p> <p>(1) 小・中学校の通級指導教室の支援拡充について以下伺う。</p> <p>① 市内小・中学校で通級による指導を受けている児童生徒の人数と障がい別の割合は。また、通級指導教室を必要と捉えている潜在的な数の把握はされているのか。</p> <p>② 通級指導教室に通う児童生徒の内、自校通級と他校通級の割合は。</p> <p>③ 学校が通級指導教室の必要を感じているものの、保護者の送迎の問題で通級指導ができない事例はどの程度あるのか。</p> <p>④ 通級指導教室の設置校の増加や担当指導教員の増員の考えはあるのか。また、設置個所の児童生徒数や地理的なバランス（北部や芝川地区など）の配慮はどうか。</p> <p>⑤ 保護者等の負担軽減を考えると自校通級の設置を拡充する方向が望ましく、全国的には自校通級の方向性であるが、今後の拡充にあたり市の考えを伺う。</p> <p>(2) 放課後等デイサービス事業について以下伺う。</p> <p>① 放課後等デイサービスの事業内容の透明性の確保と情報公開の推進や施設の運営状況の把握について。</p> <p>② 放課後等デイサービス事業者との意見交換の取り組み。</p> <p>③ 放課後等デイサービス事業者と学校との連携について。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長
2	読みやすい、わかりやすい公文書等のユニバーサルデザイン（UD）推進とユニバーサルデザイン（UD）フォントの導入拡充の提案	<p>市は多くの広報物や通知文書を作成しているが、読み手（市民）には読みにくい文章やわかりにくいものがある。高齢者など視覚弱者の方には読みやすいように配慮する必要がある。以下伺う。</p> <p>(1) 市の公文書や広報物の作成時にユニバーサルデザイン（UD）の観点はどのような配慮がされているのか。</p> <p>(2) ユニバーサルデザインフォントは高齢者の方でも視覚弱者や障がいを持たれている方にも読みやすく、わかりやすい文字のことであるが、導入はどの程度進んでいるか。</p> <p>(3) 小・中学校の教材や配布資料等のユニバーサルデザインフォントの導入はどうか。</p> <p>(4) 市のユニバーサルデザインフォントの活用は例えば広報ふじのみやでは導入されていてもHPには導入されていないなど、各課によってバラバラの対応である。導入を推進するのであれば全庁的に推進を図るべきと思うが、どうか。</p> <p>(5) 自治体によって作成文書のユニバーサルデザインをマニュアル化し、ユニバーサルデザインフォントを含めて全庁的に取り組んでいるところがある。指針となるマニュアルを検討していくことは考えられないか。</p>		市 長 副 市 長 教 育 長 関 係 部 長